

平成28年度 第1回小城市男女共同参画審議会 議事録

開催日時：平成28年7月29日(金) 午後2時～午後4時16分

開催場所：小城市役所 西館 2階 大会議室

出席委員：吉岡委員、原委員、森永委員、古賀委員、堤委員、百崎委員、大平委員、
船津委員、半田委員、大迫委員、七島委員

事務局：江里口市長、大橋総務部長

(総務部 企画政策課)

熊谷企画政策課長、池田市民協働推進係長、山田主査

傍聴者数：0名

議 事 録

午後2時 開会

1. 開 会

(企画政策課長) みなさん、こんにちは。本日は大変御多用の中また、大変暑い中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。今、外の方を見ましたら雨が降り出した様です。これで少し涼しくなれば良いなと思っております。

只今から平成28年度第1回小城市男女共同参画審議会を始めさせていただきます。

本日の進行につきましては、事前に送付させていただいております次第に沿っていきたく思っております。配布資料につきましては、説明はその都度資料を明示してさせていただきたいと思っておりますのでご了承ください。

本日の進行を務めさせていただきます私、小城市役所企画政策課長の熊谷と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず最初にこの会の設置についてご説明をしたいと思えます。

資料1をご覧ください。審議会条例です。この審議会の設置の目的、その他を明記しております。今まではプランの策定について皆様のご意見を伺うような形としておりましたが、この条例に基づきましてプランの進捗状況、実施状況につきましてもご審議していただくように設置をしているところです。この

条例を簡単に説明いたしますと、第1条に設置の目的、第2条にはこの会で検討・審議していただく内容について、第3条については組織の構成です。組織の構成につきましては、資料2に皆様の名簿を付けさせていただいております。第4条は委員の任期についての規定でございます。任期は2年となっておりますので皆様には本日より平成30年7月28日まで委員をお願いすることとしております。

続きまして第5条には会長及び副会長の選出についての規定、裏面になりまして第6条には会議は会長が召集し、議長となるという規定を定めております。第7条には関係者の会議への出席についての規定、第8条には庶務これは、小城市役所総務部企画政策課において処理をさせていただくという規定です。

このような内容でこの会議を構成させていただいておりますのでどうぞご了承くださいませようお願いいたします。

2. 委員の委嘱（委嘱状の交付）

（企画政策課長） それでは、次第の2番目になります委員の委嘱状を交付させていただきます。交付につきましてはそれぞれ市長より本来、お渡しすべきところでございますが時間の関係上代表者の方1名に交付させていただきたいと思っております。

資料2の委員名簿で申し上げます1番最初の方、佐賀大学准教授の吉岡剛彦先生に交付させていただきたいと思っております。吉岡先生、前の方にお進みください。

（江里口市長） 委嘱状 吉岡剛彦様 小城市男女共同参画審議会委員を委嘱します。任期は、平成28年7月29日から平成30年7月28日までとします。よろしくお願ひします。

（企画政策課長） ありがとうございます。他の員の皆様には机上に既に委嘱状を差し上げております。お納めいただきますようどうぞよろしくお願ひいたします。

3. 市長あいさつ

（企画政策課長） 続きまして江里口市長が挨拶を申し上げます。市長よろしくお願ひします。

(江里口市長) 皆さんこんにちは。今日は平成28年度の第1回目の小城市男女共同参画審議会となります。

今日、吉岡先生に代表して委嘱状を交付させていただきましたけれども皆さん2年間の任期ということでこれから色々お世話になると思いますがどうぞよろしくお願い申し上げたいと思います。というのも実は、今年の1月に男女共同参画のプラン策定懇話会がスタートいたしましてその流れの中で今日に至ったわけでございます。ですからメンバーも小城市小中学校校長会の堤先生が今回代わられたぐらいで後は皆さんそのままメンバーも代わっておりませんので結構、皆さんそれぞれ色々お話をされた顔馴染みの方もいらっしゃるかというように思っておりますけれども、これからは私の方からプランの策定についての諮問を行ってそして答申をもらうということになっていくわけです。

今年の1月の懇話会の時に色々話をさせていただき、市民を対象にしたアンケートあるいは、若い世代の方々に対するアンケートを取りましょうという話になり、そのアンケートの結果が分厚い資料として今回皆様方のお手元にも配られているのではないかなと思っている次第でございます。ですからこれからは、今までの策定懇話会の流れで色々なアンケート結果を集約して皆様方の審議会の中で話をさせていただければと思っております。今日、私の方から諮問させていただいておりますが、今年の11月くらいまでには答申をお願いしたいと思っておりますし、その答申を受けた後に平成29年の3月までにはプランの策定をしていきたいと思っております。先程、熊谷課長の方から話があったように答申をするまで色々なご協議があるかと思っておりますし、私達が答申を受けた後、プランを策定するわけですが、きちんと答申に基づいてプランが策定されているのかということもこの審議会の中で色々見ていただきたいなと思っております。

任期が2年ということですので平成30年の7月までの任期でございますので、プランが策定された後に小城市としてどう事業展開しているのかということもしっかりこの審議会の中で見ていただくというそのような役割があるかと思っております。2年間という長丁場になりますけれども男女共同参画なくして地域の運営はありえない、また地域の生活は成り立っていないという風に

現在の社会の中では思っております。これからはお互いに認め合い、支え合いしっかりと地域社会を維持していく為には男女共同参画を継続していき、それをまた事業に乗せてやっていくという思いでございますのでどうか各委員の皆様方のご意見を賜りながら答申や男女共同参画参画のプラン策定のならいをしっかりと見届けていただければなという風に思っておりますので、これからよろしく願い申し上げまして私の挨拶とさせていただきます。

4. 会長・副会長選出

委員自己紹介

(企画政策課長) ここで皆様、一堂に会されて懇話会でもお顔見知りということでもありますが、改めまして皆様のお名前を名簿順ですが事務局の方から申し上げますので、できればその場にお立ちになって簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。名簿順からいきますと1番目佐賀大学文化教育学部准教授 吉岡 剛彦様です。

(吉岡委員) 佐賀大学の吉岡です、よろしくお願ひします。

(企画政策課長) 2番目佐賀県DV総合対策センター所長 原 健一様です。

(原委員) DVセンターも10年目になりました、よろしくお願ひします。

(企画政策課長) 3番目の福成様は本日欠席というご連絡をいただいております。

4番目小城市区長連絡協議会 森永 光俊様です。

(森永委員) 森永でございます、よろしくお願ひします。

(企画政策課長) 5番目小城市地域婦人会 古賀 裕子様です。

(古賀委員) 古賀裕子です、よろしくお願ひいたします。

(企画政策課長) 6番目小城市人権擁護協議会 西村様は本日欠席です。

7番目小城市小中学校校長会 堤 勝教様です。

(堤委員) 堤でございます、どうぞよろしくお願ひします。

(企画政策課長) 8番目小城商工会議所 百崎 みさき様です。

(百崎委員) 百崎と申します、よろしくお願ひいたします。

(企画政策課長) 9番目小城市幼児教育保育ネットワーク保育部会 大平 兼久様です。

(大平委員) 大平と言ひます、よろしくお願ひします。すみませんこのような格好で参

加いたしまして今日、明日が夏祭りなので準備していて着替える時間を逃して
しまい申し訳ありません。よろしくお願ひします。

(企画政策課長) 10番目小城市社会福祉協議会子育て支援 船津 由美子様です。

(船津委員) 船津由美子です、よろしくお願ひいたします。

(企画政策課長) 11番目小城市男女共同参画ネットワーク 半田 幸子様です。

(半田委員) 半田と申します、よろしくお願ひします。

(企画政策課長) 12番目小城市女性人材バンクより大迫 興子様です。

(大迫委員) 大迫興子です、どうぞよろしくお願ひします。

(企画政策課長) 13番目小城市内在住女性活躍者ということで有限会社 七島農産取
締役専務 七島和美様です。

(七島委員) 七島農産の七島和美です、よろしくお願ひします。

(企画政策課長) 14番目の公募委員であります藤井様も本日欠席のご連絡をいただい
ております。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

会長・副会長選出

(企画政策課長) 続きましてこの会の条例にありましたように会長・副会長の選任に移
りたいと思います。選任に移ります前に先程、ご説明をしました資料1の第5
条をご覧ください。第5条はこの審議会の会長及び副会長となっており、この
選任については委員の互選により定めるということになっておりますが、昨年
度選出しました男女共同参画プラン策定懇話会では、会長吉岡委員、副会長原
委員としておりましたので、出来ましたら事務局といたしましては引き続き会
長吉岡様、副会長原様にお願ひできればと考えておりますがいかがでしょうか。

【一同拍手】

(企画政策課長) ありがとうございます。それでは会長に吉岡委員、副会長に原委員よ
ろしくお願ひします。

5. 諮問「第2次小城市男女協働参画プラン策定について」

(企画政策課長) 議事に入ります前に、第2次小城市男女共同参画プランの策定につい
ての諮問を行います。資料3に諮問書の写しをお示しておりますのでご確認くだ
さい。吉岡会長様前の方にお進みください。本年度の審議会では、主に新たな男
女共同参画プランについてご審議していただくこととなりますのでよろしくお願

いたします。

(江里口市長) 小城市男女共同参画審議会会長吉岡剛彦様、第2次小城市男女共同参画プランの策定について諮問いたします。小城市男女共同参画審議会条例平成27年小城市条例第45号、第2条をもって第2次小城市男女共同参画プランの策定について貴審議会の意見を求めます。よろしくお願いいたします。

6. 議事

(1) 平成27年度男女共同参画事業報告および平成28年度男女共同参画事業計画について

(企画政策課長) 早速、議事に入りたいと思います。その前に市長の方は所用がありますのでここで退席をさせていただきます。

それでは、議事に入りたいと思います。会長・副会長恐れ入りますが前の席の方にお移りいただきたいと思います。会議は、会長が議長となっておりますので吉岡会長にお願いします。

皆様をお願いですけれどもこの会議は、原則公開ということで傍聴人がいらしゃる事もあります。それから結果については市のホームページで公開をいたします。また、会議の風景の写真を撮影させていただきたいと思います。ホームページ・市報等での掲載を考えておりますのでどうぞご了解いただきますようお願いいたします。

では、吉岡会長よろしくお願いいたします。

(吉岡会長) 改めましてこんにちは。皆様から活発なご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、式次第に従って進めて参りたいと思います。6の議事ですけれども(1)から進めて参ります。(1)平成27年度男女共同参画事業報告および平成28年度男女共同参画事業計画について、では事務局の方からお願いします。

『資料4-1 平成27年度 男女共同参画事業報告、資料4-2 平成28年度 男女共同参画関連事業計画』に基づき事務局より説明。

(吉岡会長) ありがとうございます。それでは昨年度の事業の実施状況と今年度の計画についてご報告いただきましたが何かご質問やご意見、お尋ね等ございませんでしょうか。

(森永委員) お伺いしますが、男女共同参画フォーラムですが、これについては28年度はないということですか。

(市民協働推進係長) はい。昨年度まで10回連続で男女共同参画フォーラムを開催しているのですが、今年度はプランの策定ということもありましてフォーラムに変わるものとして28年度計画資料4-2にピンク色で示しておりますが、ワークショップを開催するというので本年度のフォーラムに変えさせてもらっています。

(森永委員) わかりました。

(吉岡会長) その他いかがでしょうか。

(古賀委員) 人材バンク事業ですけど広報などで公開はされているのでしょうか。

(市民協働推進係長) 市報やホームページ上でお知らせしています。市報で年1回から2回掲載しているのですが、人材バンクの趣旨がこのような審議会や委員会などへの女性の登用を目的としていますが、人材バンクに登録してこういった政策方針決定過程に伴う会議に出席をしたいという方がいらっしゃらないというのもあるかと思えます。

(半田委員) 第2次小城市男女共同参画プラン策定で、第1次がさくらプランだったと思うのですが、すみませんだいぶ前で中身をきちんと覚えてなくて。さくらプランの総括というのは後のところで出てくると思うのですが、第2次を作るにあたってはやはり第1次がどうだったか、プランはどうだったかというところの資料を今日見たところいただいてないようですが。

(吉岡会長) 資料の方、総括はいかがでしょうか。

(市民協働推進係長) 総括の資料を言われたかと思えますが、議事の4番目になりますが、さくらプランの策定についてということで資料7の5番目に今後のスケジュールをあげております。今回の会議で報告します意識調査やワークショップまたは、進捗状況から課題を整理しまして、第2次男女共同参画のプランの体系等を話し合っていきたいと思っておりますが、第2回で第1次の課題の整理、総括

を行うことになるかと思えます。

(吉岡会長) 2回目以降にそれについては会議があるということですね。その他いかがでしょうか。

(大迫委員) 男女共同参画推進員さんというのは、どういう活動をしていくのでしょうか。

(市民協働推進係長) 書いておりますように地域における男女共同参画の推進ということで活動していただいております。制度ができた当時は企業を回ってパンフレット等を配布してもらい男女共同参画の啓発活動を行ってもらっていましたが、最近、活動が少なくなっております。市から男女共同参画フォーラムや講座のご案内を差し上げておりますが、なかなか推進員の活動が出来ていない状況です。事務局が上手く誘導ができていないところもあるかと思えます。

(吉岡会長) よろしいでしょうか。それでは、昨年度と今年度の事業について確認したということにいたします。

(2) 男女共同参画に関する意識調査結果について

(吉岡会長) 議事の(2)男女共同参画に関する意識調査結果について資料の5-1・2を使って事務局の方からご説明をお願いいたします。

『資料5-1・5-1(別冊) 男女共同参画に関する市民意識調査報告書』に基づき事務局より説明。

(吉岡会長) はい、資料5-1と別冊について詳しく説明していただきました。主に別冊の方を中心にお話いただきましたが、良く見比べながらご質問あれば出していただきたいと思えます。それぞれ関連の分野から来てくださっていますのでそのあたり何かあればと思えますがいかがでしょうか。

(半田委員) 有効回答率が35.35%ということで大体そのくらいが平均でしょうか。少ないような気がするのですけれど。

(吉岡会長) いかがでしょうか。回答数ですけれど

(市民協働推進係長)そうですね。若干低いようには思うのですが、今まで市が実施したアンケート等の調査の結果ですが、協働によるまちづくりのアンケートというものを実施しておりますが、こちらも調査対象が2000人と一緒ですが38.1%の回答率です。総合計画等でもアンケートを実施しています。今現在第2次の総合計画策定中ですが、今年の3月に実施したアンケートは、42.6%の回答率と非常に高くなっています。総合計画は年々有効回答率が高くなっているのですが、以前は30.1%と低かった時もありますので、送付された方であったり興味がある内容のアンケートかということで回答率に違いがあるようです。

(吉岡会長)よろしいでしょうか。自由回答のところに回答に時間がかかったという意見もあるようなので、もう少し質問項目を選定する方法も検討いただければと思うところです。その他いかがでしょうか。

(原副会長)男性の育児休暇について、市役所の職員の休暇取得率は上がっているのでしょうか。

(市民協働推進係長)お恥ずかしいのですが、今まで市役所では職員で育児休暇を取得した男性職員はおりません。今年度、予定なのですが一人育児休暇を取りたいという希望は出ているようです。

(吉岡会長)ぜひ、取ってください。その他いかがでしょうか。何かありませんか。家事の従事時間等全体で見ると平均して出ているのですが男女比で見るとかなり圧倒的に違うということですね。

(原副会長)DVに関しては、11ページにもありましたように被害を受けた方が「自分さえ我慢すればいい」とか「自分が悪いと思った」とかそのあたりの数字、その他の数字は覚えてないのですが全体的にそんなに変わってないなという印象があります。主婦に対する啓発というのがまだまだ必要であるということに改めて思いました。

(吉岡会長)先程、回答率等を話しておられましたが、やはり答える人は答えていても少し理解いただいている方の実態も高いのではないかなという感じはあります。

(百崎委員)このアンケートの取り方ですけど例えば19歳、20歳代を何名という風に人数は。

(市民協働推進係長)はい、男女別、年代別に均等にアンケートを送付しています。

(百崎委員) それで回答が来たのがやはり60代が多かったということでしょうか。

(市民協働推進係長) そうですね。資料5-1 別冊の問2になりますが、アンケートは平等に年代ごとに送ってはいるのですが、回答が60代の方が一番多いという結果が出ております。詳細については資料5-1 厚い冊子の7ページになります。男女別と年代別をグラフにしています。

(百崎委員) 各年代でだいたい6つの年代に分かれていますよね、計算したら大体300ずつ位配られたということで、その回答にあるパーセンテージは全体からのパーセンテージですよ。できたら各年代のパーセンテージも必要かなと。結果を見るとときにどの年代はと見ただけで分かり易いようにしていただければと思いますが。

(市民協働推進係長) 集計をすれば出るかと思いますが今この場では資料としてはお示しできません。すみません。

(吉岡会長) その他お気づきの点はございませんか。個人的な意見ですがけれど、例えば「夫が外で妻が家で」、「男の子は男らしく女の子は女の子らしく育てる」というようなアンケートで「どちらともいえない」という回答が一番多いのですけども、「どちらともいえない」という回答は中立とは言い難いと思います。厳しく言えばはっきり反対と答えられない限り男女共同参画の視点ではまだちょっと問題ありと考える余地があるかなと。一概には言えませんし、個人的な意見ですが。よろしいですか。どうぞ

(七島委員) 来年度はまた、このアンケートはされるのでしょうか。

(市民協働推進係長) アンケートについては、プラン策定期間ということになりますので5年に1回で計画しております。

(七島委員) 例えばこれのプランを元手にDVに対してとか、性犯罪とかそれによって先程おっしゃられた対応策というのがすごく変わってくると思うのですよ。例えば50代や60代であったら、ペーパーや窓口がいい、でも若い人はDVや性犯罪だったらもう今はデジタルなので匿名性があってもネット等での回答でもいいなどそういう所をアンケートでわかれば掘り下げられるかなと思います。若い人のアンケートの回答率が悪いのはどうしてか。私もそうなのですが、デジタルデータの方が楽で国勢調査も紙で来た時には、もうアンケートなどはインター

ネットでする事に私たち慣れてしまっています。アンケートの活用の仕方を考えてアンケートのやり方を変えていってもいいのでは。例えばペーパーでもいいし、ネットでの回答も OK ですよと。価格やソフトを作ったりする手間はあるかもしれないけれど活用を考えればそういった方法を検討してもいいのではと思います。

(吉岡会長) そうですね。確かに集計も簡単でいいかも。よろしいでしょうか。次に中学生のアンケートに伴って関連がありますのでそちらの方を説明していただこうと思います。よろしくお願いいたします。

『5 - 2・5 - 2 (別冊) 男女共同参画に関する中学生意識調査報告書』に基づき事務局より説明。

(吉岡会長) ありがとうございました。今、ご説明いただきました中学生に対する意識調査について何かご意見やご質問等ございませんか。校長会から堤委員いかがでしょうか、感想でも。

(堤委員) 中学生の場合は、こういうものかなと思います。学校で卒業式や入学式でもお父さんもお母さんも揃って参加されるというのが普通になっている。学校も、子どもたちが例えば50人だとすれば椅子はその倍位用意するというのが普通なのです。以前は、どちらかだけ参加でしたが、今は授業参観でも両方来られることが結構多いので、そういう意味では子育てについては男親も女親も両方という意識は結構見えるのかなと思います。

(半田委員) 中学生の親たちって年代的にわかりますけど、中学生のほとんどが違和感を感じていない。それが当たり前というように感じているということは、いい方向かなと思って。やはり60歳以上の方が色々、今まで男女共同参画のことに關してはありましたが、もう今の若い人たちは、結構男女共同参画というのも当たり前みたいな感じで子どもたちも捉えているのかなという感じがいたしました。ただ初めてのことですか、この中学生の調査は。

(市民協働推進係長) 10年前に実施しています。

(半田委員) 男女共同参画のことを知らないという子どもがいっぱいいる。まあ、当たり前と思っているから知らないかなと思ったのですけれど、これはすごくいい成

果につながるかなと思います。これから先5年間のプランを策定する際にはすごくいい結果が出てくるかなと思います。もう一点中学生の問いの中で「結婚して相手に満足できない時は離婚しても良い」とありますよね。満足できない時に離婚していいならみんなが離婚しないといけないのではないかなと。満足していないとか、それは当然ですよ。こういう設問ではなくて「一緒に住めなくなったら」など、何か設問が引っかかってしまって、すみません。

(吉岡会長) そうですね。ご指摘あったように中学生の親御さん、ほぼ40代から50代位と思うのですが、30代も。だいぶ意識も変わってきているのかなと思いますね。でも、家事の分担を見ると結構まだ妻が主にとというのが多いので実際のところ行動が伴っていないところかなというのがありますね。その他お気づきの点はございませんか。

(船津委員) デートDVの分が少し気になったのですが、「別に変だと思わない」というのが結構、高い気がするのですが、このアンケート結果が出たことで今後どのように生かしていけるのかなというのが。

(吉岡会長) どうでしょうか。特に男子、男性の方で「変だと思わない」がちょっと高い設問があってこの点いかがでしょうか。

(原副会長) DV・デートDVを知っていると答えるお子さんが多くなっていますので、教育の部分は、大きいと思います。DV総合対策センターで実施しているプログラムは、小城市の中学校では牛津中学校と芦刈中学校の2校でやっていますが、小城中学校、三日月中学校では今は実施できていない状況です。ただ小城中学校は今年度実施する方向です。やはり啓発を子どもたちにしていくことが大切でもありますし、例えば中学生は、親の影響というのも受けますので、家庭環境で例えばDVがある場合、その子どもが暴力を容認するような回答をする場合があります。ただ、親はDVがあっても自分たちの生き方は変えられるという教育がこれから必要だと思います。

(企画政策課長) すみません。中学生のアンケートの中に「平等」になっていると自分たちは思いながら資料5-2の18ページにありますように、「女は女らしく男は男らしく」という考え方が実は男性の方が高いのです。そしてそのDVの分の回答を見ると何となく関連があるのではないかという風に感じているところ

です。10年前との比較がないのでなんともいえないのですが、「男は男らしく」とか、そういうことを言われるのが嫌、平等と思っているのなら「反対」が多いのかなと感じていたのですが、蓋を開けてみたら意外に賛成であるとはっきり言う人がわりと多かったことが最初に見たときに感じたところです。

沢山書いてありますけれどもお時間がありましたら市民・中学生アンケートとも自由意見が書いてあります。そちらの方が非常に面白いという変ですが、特に今日お渡ししたばかりですが、資料 5-1 厚い方の資料市民の自由意見の年代と性別を見ていただくとそれぞれの傾向が何となく見えるのかなと。学校で平等だと思っていたのに社会に出て19・20歳位でどのようなことを思っている女性、男性が多いのかというのがこの自由意見の方で見えてくるところもあるのかなと。この全体像としては、中学生意識調査と市民意識調査の二つに分けていますけれど、結構、連動した教育から社会に展開していくとどうなるのかなどそういうところが少し見えてくるのかな。今のところ事務局もこれを見てそこまで深く分析をしたわけではないですので何ともいえないのですけれど少し数字的に気になるところは以上です。

(吉岡会長) 今、事務局からご指摘いただいたところは確かに成り立つと思います、23ページ目には「男の子だから・女の子だからこうしなさいと言われて嫌な気持ちになったことがあるか」と質問していて女性の方が「ある」という答えが多いということがありますし、前の方に戻ると平等感を聞いていますけれど「家庭生活」や「法律慣習」、「社会全体」と男性の方は「平等」と思っている人が多いのですが女性は、はっきりとまだ「平等ではない」と感じる人が多くて。まだ女性の方が不利かなと感じている部分があるのかなと気になるところではあります。その他何かございませんか。

(半田委員) LGBT の勉強を進めさせていただいているのですが、アンケート等を出すときに男性・女性・その他という項目があってもいいのではないかと考えています。私たちのところではまだそうしていないのですが、その他まで設けてほしいと言われていて中学生のこのアンケートのところでは今は無理だとしてもそういう課題も出てくるのかなと思ったりしています。

(市民協働推進係長) このアンケートでは女性、男性、その他の回答を設けています。

(吉岡会長) その他いかがでしょうか、よろしいでしょうか。では、今後プランの策定の中でもその都度意見を出していただければと思います。それでは意識調査についての議事は終わります。

(3) 男女共同参画プラン策定に伴うワークショップ結果について

(吉岡会長) (3) 男女共同参画プラン策定に伴うワークショップ結果について説明をお願いします。

『資料6-1 第2次小城市男女共同参画プラン策定に伴う市民ワークショップ、資料6-2 第2次小城市男女共同参画プラン策定に伴う高校生ワークショップ』に基づき事務局より説明。

(吉岡会長) はい、ありがとうございました。市民と高校生に対するワークショップの結果をお知らせいただきました。何かご質問はありませんか。委員の方からも出られた方、どのような感じでしたか。

(百崎委員) 私も出席をしました。男性の方が少なかったのでは、残念だと感じました。高崎先生が人を惹きつけるような手法で所作をされていたのでぜひ、職場だとか男性の管理職の方々などに出席講座などしていただける機会があればというように感じました。

(吉岡会長) 半田さん、いかがでしょうか。

(半田委員) 高校生ワークショップを見学させてもらったのですが良かったです。高校生の男の子も2人いて女の子の方が多かったのですがけれども本当にみんな楽しく真剣に取り組んでいて体験談などもよかったなと思いました。それで言われていた話として男の子だから女の子だからというものがずっとそう言われて育っているのだなと思って、それが今後課題になるかもしれないなと思いました。

(吉岡会長) これも当てはまるよと言われるとそうだったのだと気付いて解決することも多いのかなという感じがありますね。他に何かワークショップについていかがでしょうか

(大迫委員) たった1回のワークショップを受けることで子どもたちの意識もその場ですごく変わったと思うのでさっきの中学生の件とかを聞いたりするといかにこういうワークショップで学ぶ機会が必要なのかと感じます。

(吉岡会長) 堤さん、いかがでしょうか。

(堤委員) そうですね。学校は土曜日がないので、教える内容は減ってはいないので、時間的に教えるのは難しい。でも、子どもたちが大人になっていく大切な学びでもあるし何かふれ合えないかな、折を見てリンクさせながらできないかなと思いました。

(半田委員) 小学生向けに取り組む機会をつくって関連の事を少しずつ学ばせていただいています。そして高校はデートDV関連という事で教材をもっているのですが県の方でやられているので、それと、今度保育園の保護者向けの教材を作ろうかなということでお話をしていて、保護者が子どもを育てる時に大事なことはたくさんあるよねという事を、幼児のときにお母さんとお父さんにお話を伝えたいなということやっております。

(4) 第2次小城市男女共同参画プランの策定について

(吉岡会長) 4番目最後になります第2次小城市男女共同参画プランの策定について資料をご覧ください。では、事務局の方からお願いします。

『資料7 第2次小城市男女共同参画プランの策定について』に基づき事務局より説明。

(吉岡会長) 今、ご説明いただきました。5か年計画になるということですね。DV防止の計画と女性活躍推進法の計画を抱き合わせてすること。全体的に見直しをする予定であるというようなご説明でした。では、プラン策定について何か現段階でご質問などありませんか。

よろしいでしょうか。今後のスケジュールがありますけれど次回は第1次のプランを検証ですね。第2次の課題の洗い出しということ8月31日予定されて

います。では、そのような形で皆さんと協議して参りたいと思います。

(市民協働推進係長) すみません。先程の高校生のワークショップの内容の体験談、申し訳ないですけどこちらは机の上において帰られてください。で回収しますのでお願いいたします。

(吉岡会長) 高校生のワークショップの体験談についてはワークショップの中での話しだということを前提で書いてもらっているということですので回収いたしますのでよろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。では、第1回目の審議会については以上で終わります。どうもお疲れ様でした。

7. 閉会

(企画政策課長) 皆さん本当に長時間ありがとうございました。活発なご意見本当にありがとうございます。次回は先程も会長の方からご案内していただきました8月31日、場所はこちらの方になりますので大変お忙しい中とは思いますがご参加いただけますよう重ねてお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

午後4時16分 閉会